

取組：小・中・高等学校の学びの接続による「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

当該地域の特性等を踏まえた課題分析の視点

- ① 英語教育実施状況調査（R1実施）における授業での英語使用状況及び求められる英語力を有する英語担当教員の割合の差異から、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進が必要である。
- ② 同調査における「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標による達成状況の把握が十分でないことから、小・中・高等学校のそれぞれの学びの接続を意識した「指導と評価の一体化」が求められる。

Plan

■ 取組計画

- ① 教員の指導力向上のための研修の充実及び小・中・高等学校の教員が互いの実情や実践を知る機会の設定
- ② 「CAN-DOリスト」作成の重要性及び作成例を周知すると共に「指導と評価の一体化」について学ぶ機会を充実

■ 体制

- ・ 県教育委員会（学校支援課・教育研修課）と教育事務所、市町村教育委員会の連携による事業や研修の運営
- ・ 外部機関との連携や外部講師委託による専門的指導

Do

■ 英語教育推進事業及び授業力向上推進プロジェクト（①②）

- ・ 小中高の主事や教員が学校種を超えて授業参観や研究会に参加
- ・ 学びの接続のための考察や課題の共有

■ 「指導と評価の一体化」に向けた研修会（①②）

- ・ 外部講師から、児童生徒の英語力の効果的な育成に向け、言語活動や評価の観点の接続意義を学ぶオンライン研修を実施
- ・ 校種間交流を行い、他校種の実践や評価方法を知る機会を設定

■ 各種研修等でのICT活用推進（①）

- ・ 1人1台端末を効果的に活用した授業の実践事例を共有
- ・ 言語活動の充実及び「主体的・対話的で深い学び」の実現のためのICT活用方法について協議

■ 「CAN-DOリスト」及び「学習指導案」作成例の周知（②）

- ・ 教育課程研究協議会等で「CAN-DOリスト」活用の重要性を周知
- ・ ホームページで「学習指導案」の作成事例を周知

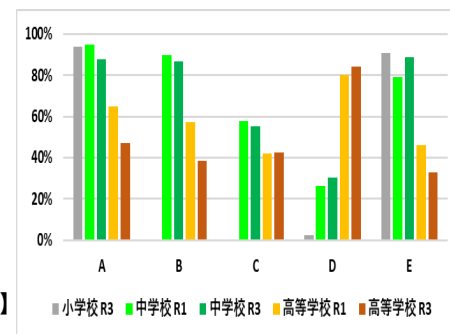
■ 小学校教員への外国語研修を実施（①）

- ・ 「外国語活動」におけるClassroom Englishや活動事例を学ぶ演習中心の研修を実施

Check

■ 英語教育実施状況調査結果より

- ① A. 児童生徒の言語活動時間50%以上
【目標値：(中)100% (高)75%】
B. 教員の英語使用状況50%以上
【目標値：(中)90% (高)75%】
C. 求められる英語力を有する生徒の割合【目標値：(中・高)50%】
D. 求められる英語力を有する教員の割合【目標値：(中)50% (高)85%】
② E. 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標の達成状況の把握【目標値：(中)(高)100%】



<考察>

- ① 授業での英語使用状況は、中学校と高等学校で大きな違いがあり、言語活動の時間の差が要因と考えられる。授業改善を継続して推進することで、言語活動の充実と求められる英語力を有する生徒の育成が必要である。
- ② 小・中学校では学習指導要領の改訂を機に、学習到達目標の達成状況の把握が進んでおり、高等学校においても、その実践から学び、生徒の学びが連結するよう改善が必要である。

Action

■ 令和4年度に向けての取組

- ・ 各種研修等にて評価の観点や在り方について研究し、「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標の見直しと達成状況の把握の必要性をより具体的に周知
- ・ 小中高等学校指導主事の連絡会を定期的実施し、連携を強化
- ・ 英語教員が校種を越えて学び合う機会を充実し、校種間接続を改善
- ・ 小学校専科教員の専門性をより高め、情報交換可能な研修の実施
- ・ 教員の英語力やALTの指導力向上につながる各種研修等を周知
- ・ ICTを活用し、研究協力校や協力教員の取組普及を強化

成果の普及

- 【中学校】ICT活用推進委員が実施した授業の事例集
<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/282976.pdf>
- 【高校】授業力向上推進プロジェクト委員会 成果物
<https://webc.gifu-net.ed.jp/eigo/>

【中学校】



【高等学校】

